

# 1. 初めまして、お兄さん。

君は普段、その口から紡ぐ言葉にどれだけの重みや、意味を感じてる？

何気なく放つた一言が、人生さえ変えてしまった。そんな経験あるかな？

言葉っていうのは、皆が考えるよりずっと強くて、深くて、怖いものなんだ。

喜怒哀楽、何を思うのも君の自由。だって思考は、君にしか分からぬ。

でも、それを言葉にした瞬間、思いは形を持つてしまう。

形を持つた言葉は、ひとを救つたり傷つけたり。影響力はすごいものだよ。

そんな事、考えてみれば当然だし、日常的に意識する事はないと思うけど。もしも、だよ？

……イヤらしい言葉、たっくさん投げかけた相手がさ？

それを全て心地よく受け入れたら……とっても気持ち良いんじやないかな……。

クスクス……♪ いきなり妙な話をされて、びっくりした？

初めまして、お兄さん。それともおじさん……？ ふふ。

攻めるは言葉。守るは身体。ようこそようこそ、言霊の部屋へ。

ん？ ああ。うん。部屋が真っ暗なのは、ええとね、ちょっととした趣向です。ここは待合室なの。だ、か、ら、ちよこっと説明するね？

あ、唐突だけど、その前に裸になってくれるかな。

……、言つたよね？ 裸になつて？ でないと始まらないから。

ほら、脱いでる間に要点だけ話すからさ、頭に刻み込んでくれる？

と言つても、そんな難しくないからね。

まずね、お兄さん。君は、ただただ僕の言葉に耳傾けて、力、抜いて。

ふわふわ空っぽになつてしまふくらいに。

ああでも、利き手だけは力残してて。でないとほら、……ね？ ふふつ。さて、これ言つとかなきやな。絶対守つてほしい約束事があるんだ。

お触り厳禁。

守らなかつたら、即退室。お兄さんはそんなひとじゃないと良いなあ。ふふつ。

……あのさ、言靈つて知つてる？

言葉には、不思議な力が宿つてゐるっていう思想の事だよ。

良い言葉は良い風向き。悪い言葉は不運を招く。

今から僕は、お兄さんには、言霊をたくさん投げかけるよ。空っぽになつたお兄さんの中身は、僕の言霊で補うつてわけ。

徐々に徐々に、じんわりじんわり、水がしみ込んでいくように、

……あ、信じてないな？

でもさお兄さん。例えばさ、僕がさ、スキスキスキ♪ だあい好き♪

なんて囁いたら、僕がお兄さんの事、好きなんだって思つちやいません？

ンうあツ……お兄さん見てたら、たまらなくなつてきちゃつた……。

お兄さんと……すつごい事したいよ……。激しくて、切ない事。

なんて言われたら、身体のどこかが熱くなつちやわない？

言霊つて、そういう事。思つてたより簡単でしょ？

ほら見て、さつそく出てきたよ。

このピンク色の人魂みたいなのが、僕の言霊。この色は、淫猥の色。

僕のイヤらしい気持ち、言葉、感情の結晶だよ。

これがたくさん出てきたら、僕はもう、えつちな気持ちで一杯なの。うふ♪

……昂つちやうとね、この子たち……勝手に喋り出したりするから。

さて、これからそんなひとときを、お兄さんと僕、二人で過ごすんだけど。

お兄さんは、自分の好きなように、好きにしていいからね。これ大事。

僕はただひたすら、言霊を投げかけるだけ。本当にそれだけ。

我慢なんてしなくていいよ。タイミングとか、気分とか、ひとそれぞれだもん。途中で飽きたら退室したつていい。

そしたら僕ね、またここでお兄さんの事、ずうつと待つててから。

だから、気遣わなくていいよ？ 僕にとつては、それが幸せ。嬉しい事だもん。

あえ？ ああそうそう、名乗るのを忘れてたね。

僕はフエフキ。フエフキ。コトダマじやねーのかよつて思つた？ あはは。

覚えなくてもいいけど、僕、自分の名前嫌いじやないから、

気持ち良くなつたら、たまらなくなつたら、呼んでくれてもいいよ？

フエフキちゃん、フエフキちゃんつて……うふふふふ♪

……有意義な時間を約束するから、……僕の言霊、受け入れてくださいな♪

よし。それじゃあ、最後の説明するね。

この先には扉が三つ。中に入れば、もっとたくさんのお兄さんの言霊が満たしてくれるよ。

扉の内訳は、やさしい言霊、ながめる言霊、

とろける言霊……、選択肢だよ。どれを選ぶのも自由だからね？

自分のさ、……好きいつてなるところを選んで、入ってね。

その先の事は、中に入る僕に聞いて？

お兄さんがどれを選んでも、僕は、いるから。

だって僕、君が何を欲してのか分かつてるもん……♪ クスツ♪

## 2.ながめるコトダマ

……はいどーも、お兄さん。やっぱりお兄さんだつた。

思つてたより、僕のタイプかも。あはは。ほら、ちょっと明るいでしょ？

こうやつてコトダマが室内を照らして——？ なあに？

ふえ。あ、ああ、あはは、ありがと。そんなに可愛くないけどね、僕は。

ほら、まあまづは楽にしなよ。こっちだよー。椅子に深く腰掛けて。

息を深あくついて。……お兄さんの一番気持ち良いところに手、添えて。そう。

でもまだ動かしちゃダメだよ。準備はいいかな？ ……うわあ……♪

わあ、わあ、しゃぶりつきたい……あ、な、なんでもないよ。あはは。

じやあ始めるね、お兄さん。

…………僕の言霊で、シコれ♪ クスツ。

……ね、お兄さんが擦つてるの。お、ち、ん、ち、ん、だよね。

おちんちん。おちんちん。いつもさ、おちんちんいじつてるの？

それで気持ち良くなってるの？ オナニー、してるの？ ……そななんだ。

オナニー、気持ち良いよね。したくなつちやうよね。分かる。

僕もオナニー好きだもん。大好きだよ。気持ち良いもん。とろつとろで、

びくびくして、頭バカになつちやうくらいさ、えつちな気持ちになつて。

お兄さんも一緒？ オナニーしてるとさ、えつちな気分になつちやう？

それとも、えつちな気分になるからオナニーしたくなるの？ どつちも？  
んう♪ シコシコすごい。手慣れてるねえ。

お兄さん、オナニーすつごい上手なんだあ……♪ 素敵い……♪

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。おちんちん、おちんちん、

おちんちん、おちんちんシコシコ、おちんちん、シコシコ……♪

あはあ……♪ やばっ……♪

あのね、僕ね、お兄さんがここに来た時から、ずっと興奮してるんだ。

胸が高鳴つて、頭がちょっと麻痺して、期待、っていうのかな、

お兄さんのオナニーが見れるっていう期待、興奮、

そんな淫らな、イケない考え方と意識で溢れて。ドキドキして待つてたの。

お兄さんと、お兄さんのおちんちん、お兄さんのオナニー見たらさ、

僕の、いつちばん大切で、奥深く、でも敏感で、ちょっとキツキツなどいふ。

そこがね、よだれ垂らしちゃつて。下着、湿っちゃつた。あは。

ねえお兄さん。僕の声で、言葉で、興奮してくれる？ えつちな気分高まる？

……ん♪ ありがと。嬉しいよ。それが僕の存在意義だから。

もつとももつと、もつとももつと興奮させてあげたい。してほしい。

お兄さんのオナニー、いつもより気持ち良くなれるように、たくさんたくさん、

えつちな言霊、届けるからね。

お兄さんのおちんちん、立派だね。熱そうだね。意思を持つてるみたい。

こんなに大きくなってるの、僕のせい？ 僕がこんな、はしたない、下品で、

口に出すのも憚られるような、そんな言葉を連呼して囁いて、そのせいで、

お兄さんのおちんちん、大きくなつちやつたの？ ……そつかあ♪

このおちんちんは、ただ射精したいのかな。それともさ、もしかしたら僕に、

僕の、この止まらない言霊を吐き出す小さな口に突つ込んで、

食べたり喋つたりする為の口なのにさ？ オナホ扱いみたいに蹂躪して、

もう、おちんちんの匂い刻み付けて支配したいの？

それとも……？

僕の……お、ま、ん、こ、に……ずぶずぶ内側をえぐるように入り込んで、赤ちゃんのお部屋の入口にぎゅうって押し付けて、直接中に精液ぶち込んでさ、

種付け孕ませ、受精、妊娠、女性のいちばん大事なところを、  
真っ白で満たして、満タンにして、溢れさせて、染め上げたいのかな……？  
後先考えないでさあ、生き物の本能と快楽、下半身を最優先して、  
そんな下心100%にまみれた種子、一滴残らず吐き出したい？  
僕、お兄さんになら、されたいよ……？　お兄さんならいいよ……？  
お兄さんの子どもなら、宿したいって思ってる。本当だよお？  
でも、ここじやダメ。それに僕が良くて、お兄さんが良くなきやあ。  
……へ……いいの……？　……あは……お兄さん、僕、本気にしちゃうよ……？  
いいのかナ？　迂闊な事口走ると、僕の中身、  
お兄さんの言靈で満たされちゃうよ……？  
うふふふ。でも、嬉しい。ますます……熱くなつてきちゃつた。  
お兄さんの言靈で満たされちゃうよ……？  
し、た♪  
あはは。下着脱いだら、とろとろであまあい蜜がね、糸引いやうかも。  
ねえ。言葉って、凄いでしよう？  
口に出せば、目には見えないけど形になるの。例えばほら、  
形はこうやって、お兄さんの身体に、僕の身体に現れてる。  
とつても恥ずかしいところにだけど、ね♪　きひひ♪　恥ずかし……♪  
お兄さんの逞しい巨塔も、嬉しそうに汗かいちやつてるねえ。  
粘り気ぬるぬるの汗……クスツ。遠慮しないで、もつと出していいよ……？  
我慢汁、溢れさせて。カウパードくどく出して。おちんちん、てからせて。  
お兄さんの気持ち良いくつ感情、おちんちんからたくさん噴き出してください。  
それ眺めてるだけで、僕、それだけでさあ、幸せになつちやうの。  
キュンキュンしちやうの。もう、嬉しくて興奮して、昂つて、  
僕の気持ち良い穴、お兄さんのおちんちん受け入れたくなつちやう。  
おちんちん欲しい。おちんちんください。おちんちんハメて。  
「おちんちんバカ」になつちやうくらい、ひくひくひくひくウ、  
いつもは閉じてるのにさ、かぱあつて涎を垂らしながら、開きつ放し♪  
……今、これ以上ないくらいさ、……おまんこ開いてるよ……？  
その気になつたら、一瞬で繋がつちやえる。ハメハメ、セックス、

エツチ、ぐちゅぐちゅずぶずぶ、理性も自制心も欠如した、  
獣みたいに激しくて気持ち良い時間……過ごせるよ……？  
本当はあ、僕もお、お兄さんとどつぶりずうううとセックスしたい……。  
で、も、やっぱりここじやダメ。お兄さんは、今してる事……、  
おちんちんシコシコ、コトダマオナニーを続けてね……♪  
んう？　お兄さん、大丈夫？　もしもーし。  
あれ？　うん？　もしかして、たまらなあい感じになつてきたの？  
クスツ♪　お兄さん、かあわあい♪　ねええ、気持ち良い？  
うん♪　気持ち良いの最高だよねえ。オナニー最高だよねえ。  
ふつうはさ、ひとりでするのなんて虚しい事かもしれないけど、  
今は僕がいるよ。僕がこんなに近くで、お兄さんの事を見てるんだよ。  
最後の瞬間も、その余韻も、瞬きしないで見届けるから……♪  
ね？　何度も僕に会いに来て。何度も僕に射精して見せて。  
お兄さん♪　お兄さん♪　あは。お兄さん、顔やばいよ。  
そおんな恍惚の表情見せつけてさあ、もお……僕それを見てるだけで……、  
イッちやいそうだよ……。  
ああ、幸せ。お兄さんが僕の言靈で感じてくれるなんて。幸せ。  
おちんちん、びゅううつて出したい？　絶頂？　射精？　暴発？  
ううん♪　やつたあ♪　すつごく楽しみにしてたんだよ？  
あは♪　あは♪　うん♪　イつてほしい。イつてほしいな。  
あの昇天しちゃう感覚の瞬間に立ち会えるなんて、うふふ♪  
見せてつ……射精、見せてつ。……いい？　五つ数えるからね、  
零、と同時に出して？　白いおしつこびゅるるつてして？　いくよ？  
五お、四、三、二い、一、……零お♪  
んいアツ♪　ひあ♪　わあ、すつごお……♪　どくどく、濃ゆい……♪  
射精気持ち良い……？　気持ち良いに決まつてるよね。うふふ♪  
お兄さん……お兄さんお兄さんお兄さん……♪　ありがとお、すつごく、  
僕、すつごく嬉しいよ……。こんなに大量に濃厚な射精……ああ……♪  
いただきました……。ご馳走様でした……。この部屋に溢れた精液は、

ぜんぶぜーんぶ、僕の……いや、ううん？ 何でもないよ。えへへ……。

名残惜しいけど、射精が終わつたら後ノ屋に進む決まりなんだ。

お兄さん、楽しかつたよ。とつても幸せな時間だつたよ。また来てね……？

### 3.ながめるコトダマ

はいよー。よーこそー。ここを選ぶなんてさー、お兄さんさー、見抜きとか好きなタイプなのかなー。まあどうでもいいけどね。

適当に掛け。そこに椅子あんでしょ。ほら、さっさとしてくれるかなー。ふー。さて、と、上乗るねー。……ん？ 乗るだけだよ。

お兄さん、こういうの初めて？ そういうお店とか行かないの？ ふーん。

はいじやあー、膝ちょっと借りますよっと。……ねえー？

太もも触れ合つただけで、びくっとしぐやない？ はあー。

おっ。お兄さん、結構な男前だねー？ モテるんじやないのかなあ？

……、ほんとー？ 言霊の部屋で嘘とかつくるの、縁起でもないよー？

……ていうかさー、僕の顔見すぎ。そんな熱い視線もらつても困るんだけど。

女の子とこんな至近距離で顔合わせるの、緊張しちゃいますー……？

でも、ここ僕は無表情だしー、顔色も変わらないけどー、良いのかなー？

あつそうー。まあそうだよねー、その為にここに来たんだもんねー。

そんじやー、とつとオナニーして。面倒だけど、言霊あげるから。

おかげはー、言霊とセットで、僕の顔。お兄さんの好みだつたらいいけどー。

……んー。ありがとー。まあ、悪い気はしないかなー。

というかほらー、いつまで見てるだけのさ。さつさとシゴき始めてよー。

はい、ちんぽシコシコスタートー。ちやつちやと気持ち良くなりましょーねー。

……どしたのー？ 僕、ちゃんと見てるよ。お兄さんのオナニー顔、見てるよ。

ぜーんぶ、ちゃんと覚えちやうよ。そこはほらー、僕、お兄さんの事さー、結構気に入つてるからさー……？ もし次お兄さんが来たときは、

今何を感じてるのかー、いつ限界が来ちやうのか分かつちやうかもねー？

……んー？ ……こう見えて僕も、興奮してるよー？ ……うんー。  
ねー、お兄さんのちんぽ、すつごいエロい匂い出し始めてない？

もしかしてさー、それさー、僕の事誘つてるのかなー。

そんなに誘惑したって、一瞬だつて触らせないし触つてあげないよー？

ねー？ 分かってるよー？ こ、こ、はー、僕が、フェラキが、

お兄さんにい、きもちいい、言霊をあげるだけの場所だからねー？

……分かってるなら、いいんだよー？ ちやーんと理解してるお兄さん、

とっても偉いねー。えらいえらーい。

だつてさー、ひとつっていうのは全然約束を守らないし、嘘つくし。

だからねー、……お兄さん、すつごく良いひとだなあつて。

ちよつと挙動不審だけどー、どこか冷静さもあつたり、現実を見据えて、

忠告や警告も素直に聞いてさー、理性と自制心がしつかりしてるねー。

あーあー。あははー、なんか、たぶん好きになっちゃうかもなー。あはははー。

あれ？ 今少し震えたね？ ちんぽも飛びはねそそうだつたねー？

すぐ分かるよー？ あれれー、まさか、

す、き、つて言霊に反応しちやつたのかなー。およよー？ まだだー。

わー、お兄さん、うわー。

ちよつとさー、勘違いとか困るよー？ 僕を好きになっちゃダメだよー？

傷つくのはお兄さんなんだからねー。分かってるー？

んー♪ お兄さん、やっぱり素直だねえ。ますます僕は好きになっちゃうなあ。

……何か言いたそーだね？ ずるい、かな？ うんー、僕はずるいよー？

こうすればお兄さんがあ、んううつ♪ つて感じちやうの分かつてるからー。

でもでもー、ずるいってだけで、嘘つきじゃないんだよー……？

その意味が君に分かるかなー……？ ……答えないよー？

大人は質問に答えませーん。自分でよく考えてねー？

あーでも、ちよつと不公平だよねえ。

お兄さんにはさあ、全裸になつてもらつたけど、……僕はどう？

見たいと思うー？ 思うよー？ でもさー、でもさー？

この方が想像が広がるじやんさー。

君からすれば、僕が下着をつけてるかどうかもさ、  
分からんのだから。もしかしたら……びしょびしょかもしれないよ？

上はビンビンかもしれないね？ どっちもかなあ？ さうどうだろう。  
僕にも分からんのだよねえ。この僕は顔も青白いからさ。

ただく……、もし今お兄さんが手え伸ばしてきたら、

すっごい声出ちやいそ。……だめえだよお……？ フリじゃないよお？

生涯出禁にしちやうよ……？

嫌だなあ僕、こんな形でお兄さんとお別れなんてしたくないよお。

それにさあ。もし触られたら、僕のコトダマが部屋を埋め尽くしちやう。

だって僕、すっごい声大きいからね……？ 自覚してるくらい乱れるからね。

君とやつちやう機会があつたら、そりやもう、すごいですよ……♪

君に動く暇なんてあげないからさ。体内の精氣い、最後のひと絞りまでえ、

キツツキツの口とお、すっごい腰振りでえ、直接味わつちやうからあ。

限界の時は、奥の奥の限界に押し付けてえ出してもらうからね。

こう見えて腕力、脚力に自信あるからさあ、絡みついで絶対逃がさないよお。

僕の事、孕ませてね……？ お兄さんの子なら、喜んで産んじやうから♪

ねええ～？ お兄さん、僕と交尾したい？ 交尾したくなつちやつた？

僕もしたいよ。お兄さんとしたい。ドチャクソにドスケベな汗だく交尾して、

外も中もさあ、お兄さんの濃い精液に溺れたいな……？

こんなに密着してるのに、できないなんてさ、我ながら滑稽だよね。

何でこんな枷を作ったんだろう。許されるなら今すぐ君のさあ、

淫乱ちんぽを食べちやうのに。

お兄さんのちんぽじゅつぶじゅつぶ頬張って舌で舐め回して口ん中で

唾液と我慢汁シェイクして喉奥突っ込んで体内に直接射精させてああでも

休ませないよおまんこ使つて射精途中のちんぽガツチリ掴んで膣内満たして

責任とらせるから逃がしはしないから一生僕と交尾を続けてもらうから。

……お兄さん？ どもしたのお兄さん。なうに？ その顔？

困つたような昂つたような表情はあ、一体何を意味してるのかな。

あれえ、あれえ？ もしかしてもしかして、……出ちやうのお～？

ん～♪ 出すのはいいけどさあ、そんな勢いでシコつて、まさかさあ、  
僕に思いつ切りぶつかける気かな～？ ねえ～？

僕が精液まみれになるところ見たいわけ～？ うつわあ、お兄さん～。

ここにはシャワーも何もないよ～？ ずっと君の精液身に纏つてさ、  
過ごさなきやいけないんだよ～？ ……えへへへへ～♪ えへへ～♪

いいよ♪ 僕をお兄さんのヌスにして♪

僕の事、思いつきり汚して♪ 風も髪も手足も服もさ、

精液こびりついて取れなくして良いから～♪ 溺れさせて……、

精液マークリングしてえ～♪ 僕の事お兄さんのモノだつて証明してえ♪

ほら、ほら、ほらあ♪ 魂ごと吐き出すつもりでさあ、僕に～、

全部ちよーだいね～？ んう♪ もうイつちやいそおかなか？ ……ん～♪

大丈夫、大丈夫～。ちやあんとさ、じいいいつ見てるから～。

お兄さんも、僕から目を逸らさないでね……？

出してる間も、僕の事、ずうつと見ててね～？

うん♪ ジやあ五つ数えるから、零と一緒に出しちやいましよ～♪

ご～お♪ よ～ん♪ さ～ん♪ に～い♪ い～ち♪ ……ゼロ♪

んツ～！ 射精だあ射精してるう♪ 見てえ僕の事もつと見てえ♪

見ながら最後の一滴まで出してえ♪ あは♪ お兄さん、好きい～♪

……あーあー♪ あつついのが出ちやつたねえ～♪

ン～んふ♪ ちょっとお、本当に全部僕にかけちやうつもり～？

全身に種付けされちやつてる気分だよ～♪ んふう♪

……お兄さん？ ほら、見て。見てよ。くっさい、どろつどろに汚れた僕。

完全にお兄さんのメスにされちやつたあ～♪

うふふふ♪ まったくさあ、お兄さんつてば遠慮を知らないんだねえ。

でも～、最後まで言う事聞いてくれたね。お触りもお、ぶつかけもお、  
全部僕の言う通りにしてくれたねえ。……お兄さん、優しいなあ～。

……後ノ屋で待ってるね、お兄さん。この部屋の先にあるからさ。

……、お兄さんつ。絶対、また会おうよ。僕、待ってるよ～。

#### 4. ところがコトダマ

わ、あ。……こ、こっち、来ててくれたの？……わあ、わあ♪  
ここで会いたかったよ……僕も♪ だつてだつてさあ、すつごおく、  
キュンキュンつてしまやうから。うん……ありがと……。  
僕、がんばるね？ 君に嫌われたくないから……。お願ひ、僕だけ。  
僕の事だけ考えて。他には何も要らない。要らないよね。ね。  
あのね、あのね、二人掛けのソファ……用意したからさ、その……、  
隣座りながら、していい？ ぼ、僕、お兄さんと、あのつ……。  
あ、う、うんつ♪ ありがと、お兄さん♪ ん、ほら、こっち♪  
ご、ごめんね、暗くて分かりづらいと思うけど、その、  
恥ずかしくて……うう。

あ、あ、うん、今座るね。……ん、えへへ♪ ピーも、お兄さん♪  
……すー、はーつ。はああ……♪ 良い匂い……。

僕、お兄さんの姿ハツキリ見えてるよ。……とてもとても、……う、  
ご、ごめん、何でもないつ。そ、それよりさ、早くしよ？ ね？  
……うー。さつきからお兄さんさあ、……そ、そこ。ガチガチにしそぎだよ。  
言わないようにしてたのに。そんなに主張されたら目に入っちゃうよ……。  
ほ、僕で、そんなに……勃起……してくれたの？ ……ひう、そ、そつか。  
んう♪ お兄さん……お兄さん……♪ お兄さんん……♪  
ハツ。えとえと。あつ、お、おな、オナニー、しよつか！ ね？ しよ？  
あう……あ、あの、僕、お兄さんがその、初めて……なので、あの、  
オナニー、見るのも……初めて。え、えつと、し、シコシコ、してください。  
うあ。お、男のひとつて、そうやつてするんだ……。あ、あつ。そうだ、言靈。  
お、お兄さん。気持ち良い？ おちん、ぽ。おちんぽ……気持ち良い？  
う。お、おちんぱつ。おちんぱつ。ひうう……。

おちんぽオナニー、私——いや、僕、僕の言靈で興奮してくれますか……？  
あ、あ、う、嬉しいよ。嬉しい。どうしよお好きになつちゃう……、  
あ、いや、お、おちんぽシゴけつ。シコシコオナニーし、しろつ。こらつ。

ああツ。違うこれは役割がツ……、……お、お兄さん、ごめんなさいツ。  
僕、上手く出来てない……ごめんなさい、ごめんなさいツ。  
もつと頑張るからつ。僕でイつて。僕で射精してほしいからつ。  
……うああ……お兄さん、優しすぎるよ……ああ……好き……。  
好きい。好きい。お兄さん好きい。大好き……。お兄さん、お兄さん。  
ダメなのに。言靈の部屋で誰かを好きになつちゃいけないんだよ？  
なのに、なのに、お兄さんさつきからずつと、私の事、虜にしちやつてる。  
それ以上好きにさせないでよお。もお、お兄さん……♪ ダ、メ、だよ……？  
んう♪ 仕方ないお兄さん……♪ 若干ルール違反だけど、ナイショだからね。  
……好き好き好き好き好き好き好きいつ……♪ お兄さん好きつ……♪  
私で感じて。私の言靈でたくさんえつちな気持ち膨らませて。お願ひ。  
うう。お兄さん……ちゃんとオナニーしてくれてる……私で……ああ♪  
手え、動いてるう。お兄さん、がっかりおちんぱ掴んでシゴいてるう。  
オナニーしてるつ……オナニー、オナニーしてるんだつ……お兄さんつ……。  
わたツ私ね、お兄さんが大好きだし、お兄さんの、おちんぱも大好き。  
お兄さんのオナニーも大好き。好きが何重にも重なつて、こ、これもう、  
ダメ、ほんとダメ、八つ裂きになりそう。最初会つた時からずつとずっと、  
ここで会いたいって思つてて、それで、ああ私今おかずにされてる。  
私の言靈、お兄さんを満たしてるんだ。ああ……幸せすぎるウ……。  
おおおお、おにいさん……セックス。セックスしたい。お兄さんとセックス。  
一生愛して。一生愛すから一生愛して。死ぬまで、いや、死んだつて、  
ずつとお兄さんとセックス。セックス。セックス。セックスう♪  
壊れたつて良いよ。君になら壊されたい。壊してほしい。おもちゃみみたいにさ、  
扱われたつて幸せだよ。それが愛だよきつとそうだよ。お兄さん、お兄さん♪  
はーッ……はーッ……おちんぽ、すぐおおい♪ 私の言靈で、おちんぽ、  
ぜんつぜん小さくならないね。むしろ大きい。君の透明な愛が、愛が、ああ、  
零れてる。垂れて、手に絡みついてる。すつごいやらしい音出てる。すつごい。  
ああ、あ、舐めとりたい。飲み干したい。ずっとずっとしやぶつていてたい。  
そんなに溢れさせて、もつたひないよお。もつたひないよお……！

あつあつそんなにシゴいて……んっ♪ 私も、ものすごく気持ち良い……。

お兄さんの小さな喘ぎ声、吐息、あまあい言霊を感じる。

意味のない言葉も私には分かるよ。お兄さんの今の気持ち、とてもよく分かる。

お兄さんが気持ち良いから、私も気持ち良い。見てるだけで、聞くだけで、触らなくたって私、さつきからずっともう、甘イキしちやつてるんだから。だってだってだって大好きな大好きな大好きなお兄さんが、目の前で、

私で、私の言霊でオナニーしてくれてるんだもん。感じない方がおかしいよ。

お兄さん好きだよ。大好き。愛してるよ。好き。好き。お兄さんも私好き?

好きだよね? ねつ? 好きって言って。好き。……ああああ、ああああツ、

好き好き好き好きツ私もツ♪ 私もだよツ♪ お兄さん、お兄さんツ♪

えへへへへ。両想いだねつ。嬉しい、嬉しそぎるつ。幸せすぎるつ……。

好き同士でこんなにくつついでさ、それでさ、オナニー見せてもらつてさ、

あはは♪ もおお、大好きいつ……。んうう♪ ううう、キスしたい……。

ちゅうつて、ほっぺとか、唇も……。し、舌も絡めて、唾液交換して、それで、おまんこツ、ガンガンガンガンおちんぽで突かれながら、おちんぽミルクつ、おちんぽミルク子宮に貰いながらキスつ……上も下も繋がつて、

ああ、そんな事したら私、幸福攝取しすぎて地獄に墮ちちゃうかな。かな。

ああしたいよつ……地獄に墮ちてもしたいツ。でもうう、我慢、しなきや……。

おにいざあんツ。イつて。イつてほしいなツ……これ以上はもう私、もたない。

身体が、心が、もたないよ。お兄さんとの幸せなセックス想像したら、もう、だって、お兄さん目の前にいるんだもん。今すぐセックスできるんだもんつ。

なのに我慢なんてできないつ。こんなルール、私ごと壊してほしいつ。

ああでもでもダメダメダメつ……お兄さん、お兄さんの一番えっちなもの、私の一番欲しいもの、出してツ。見せてツ。私ずつとずつとずつと、

好きい♪ するからツ♪

いく? イッちやう? イつて? うん、いいよ? イつていいよ?

言霊、言霊たくさん、あげるツ♪ あげるからツ♪ イつて……射精してツ!

好きいツ……好きツ……好き好き好きツ……大好きイツ……結婚して……

一生寄り添つて……好きツ……最後のあとにもついてくからツ……好きツ……

(終)

大好きツ……好きイツ……好き好きつ……大好きツ……好きいツ……♪  
好きツ好きツ好きツ好きツ……お兄さん好きツ好きツお兄さんお兄さんツ……  
……す、きい……♪

……、……ふああ……♪ こんな、に、お兄さんの好き、出ちやつた……。

ああ、ありがとうございます……♪ ありがとう、ありがとう……♪

たっくさん愛が溢れてるよ……お兄さんの、私への愛、たっぷり……。

あ、ま、待つ……て。後ノ屋には、まだ行かないで……。

少しだけ、この今までいで……。……んう♪ お兄さん、大好き……。  
あ、ま、待つ……て。後ノ屋には、まだ行かないで……。

少しだけ、この今までいで……。……んう♪ お兄さん、大好き……。  
あ、ま、待つ……て。後ノ屋には、まだ行かないで……。

## 5.後ノ屋

……さつきぶりだね、お兄さん。

ここに誰かを招き入れるの、実は初めてなんだよね。

さつきお兄さんを快楽に導いた僕は、きっとたつぱり誘惑したでしよう。

さつきの僕も今の僕。嘘偽りの言霊は一度も吐かなかつた。

僕は嘘つきは嫌いなんだ。そして僕自身、フエフキは、嘘はつけない。

そういう存在だからね。

お兄さん……約束を守つてくれてありがとう。

そして、言霊を受け入れてくれて。お兄さんからもたくさん言霊をもらつて。

ありがとう。感謝の言霊を、受け取つてください。うふふ。

さて、そろそろ時間みたい。あつという間だつたね、本当。

また来てくれる嬉しさ。待合室で言つたけど、僕、ずっと待つてゐるから。

お兄さんがここを訪れた時、僕はまた、歓迎するからね。

……じゃあね、お兄さん。いつかまた、きっと、来てね。……ん。

……お兄さんツ! 大好きだよ……♪ ちゅツ……♪